

14時00分解禁

平成28年4月 全国百貨店売上高概況

平成28年5月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,536億円余
2. 前年同月比	-3.8% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 236店 (平成28年3月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	5,962,911㎡ (前年同月比:-1.5%)
5. 総従業員数	76,389人 (前年同月比:-2.7%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 0.9%、10-12月 0.3%、11-1月 -1.4%、 12-2月 -0.5%、1-3月 -1.6%、2-4月 -2.2%

[参考] 平成27年4月の売上高増減率は13.7% (店舗数調整後)

【特徴】

4月は気温が高めに推移したものの、降水量が多かったことや、円高や株価低迷を要因とする消費マインドの冷え込み、また、中旬に発生した熊本地震の心理的影響を受け3.8%減と2か月連続のマイナスとなった。

地区別では、昨年3月(前々年の消費増税前の駆け込みの反動)以来となる全地区で前年割れを記録し、特に地震の影響が大きかった九州地区は12.9%減の2桁マイナスに終わった。

商品別では主要5品目のうち、雑貨が0.7%増と13か月連続のプラスを確保し、食料品も微減に留まる健闘を見せたが、前月同様に衣料品や身のまわり品のほか、家庭用品の落ち込みを挽回するまでには至らなかった。

細分類では、好調の続く化粧品が全18地区中、東北・近畿・九州を除く15地区で前年を上回り11.8%増と13か月連続で増勢を保ち、子供服・洋品も0.1%増と6か月ぶりにプラスに転じた。

訪日外国人動向は購買客数7.8%増(約26万人)と39か月連続で前年を確保したものの、中国の輸入関税引き上げなどを背景に、売上高は9.3%減(約179億円)と2013年1月以来39か月ぶりのマイナスに終わった。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、全国的に天気は数日の周期で変わった。気温は、南から暖かい空気が流れ込みやすく全国的に高く、特に東・西日本ではかなり高かった。月降水量は本州南岸を中心に低気圧や前線が通過しやすく、また南から暖かい湿った気流が入りやすかったため全国的に多かった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 ±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(〃 +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数136店舗)

①増加した：23店、②変化なし：44店、③減少した：69店

(5) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上(同上/有効回答数96店舗)

①増加した：9店、②変化なし：55店、③減少した：32店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2016年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	453,644,174	100.0	-3.8 (-3.9)
10都市	311,882,216	68.8	-2.6
札幌	10,971,115	2.4	-4.2
仙台	6,505,201	1.4	-1.6
東京	125,913,458	27.8	-1.5
横浜	27,138,112	6.0	-2.8
名古屋	28,719,474	6.3	-3.7
京都	18,723,201	4.1	-5.2
大阪	58,538,830	12.9	-2.6
神戸	11,714,196	2.6	-2.3
広島	9,387,004	2.1	-2.8
福岡	14,271,625	3.1	-5.2
10都市以外の地区	141,761,958	31.2	-6.2 (-6.7)
北海道	2,133,560	0.5	-6.1
東北	7,310,251	1.6	-2.6 (-3.3)
関東	65,261,125	14.4	-6.4 (-7.4)
中部	11,128,589	2.5	-3.1
近畿	19,285,179	4.3	-3.9
中国	10,144,504	2.2	-1.1
四国	7,294,690	1.6	-6.6
九州	19,204,060	4.2	-12.9

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	453,644,174	100.0	-3.8 (-3.9)
紳士服・洋品	32,525,269	7.2	-4.4 (-4.6)
婦人服・洋品	96,852,474	21.3	-8.2 (-8.4)
子供服・洋品	14,890,520	3.3	0.1 (-0.1)
その他衣料品	10,175,087	2.2	-2.0 (-2.4)
衣 料 品	154,443,350	34.0	-6.3 (-6.5)
身のまわり品	61,052,794	13.5	-6.0 (-6.1)
化粧品	34,470,237	7.6	11.8 (11.7)
美術・宝飾・貴金属	25,771,005	5.7	-7.1 (-7.1)
その他雑貨	18,156,170	4.0	-5.8 (-6.2)
雑 貨	78,397,412	17.3	0.7 (0.6)
家 具	5,078,105	1.1	-12.5 (-12.6)
家 電	1,038,302	0.2	-20.2 (-20.2)
その他家庭用品	15,564,396	3.4	-3.7 (-3.9)
家 庭 用 品	21,680,803	4.8	-6.8 (-7.0)
生 鮮 食 品	22,825,300	5.0	-2.4 (-2.7)
菓 子	28,820,783	6.4	-1.0 (-1.2)
惣 菜	26,379,609	5.8	-1.0 (-1.1)
その他食料品	32,177,063	7.1	-0.2 (-0.5)
食 料 品	110,202,755	24.3	-1.1 (-1.3)
食 堂 喫 茶	12,462,851	2.7	-6.0 (-6.4)
サ ー ビ ス	5,586,062	1.2	-11.3 (-11.6)
そ の 他	9,818,147	2.2	3.0 (2.9)
商 品 券	10,999,056	2.4	-10.3 (-10.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

NEWS LETTER

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -2.6% (2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -6.2% (店舗数調整後/6か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-2.6	-1.8	2か月連続マイナス
札幌	-4.2	-0.1	3か月連続マイナス
仙台	-1.6	0.0	2か月連続マイナス
東京	-1.5	-0.4	2か月連続マイナス
横浜	-2.8	-0.2	4か月連続マイナス
名古屋	-3.7	-0.2	4か月連続マイナス
京都	-5.2	-0.2	9か月ぶりマイナス
大阪	-2.6	-0.3	4か月連続マイナス
神戸	-2.3	-0.1	2か月連続マイナス
広島	-2.8	-0.1	6か月連続マイナス
福岡	-5.2	-0.2	2か月連続マイナス
10都市以外の地区	-6.2	-2.0	6か月連続マイナス
北海道	-6.1	0.0	12か月連続マイナス*
東北	-2.6	0.0	6か月連続マイナス*
関東	-6.4	-0.9	11か月連続マイナス
中部	-3.1	-0.1	2か月連続マイナス
近畿	-3.9	-0.2	6か月連続マイナス
中国	-1.1	0.0	4か月連続マイナス*
四国	-6.6	-0.1	2か月連続マイナス
九州	-12.9	-0.6	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

NEWS LETTER

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が13か月連続のプラスとなった。また、衣料品が6か月連続、家庭用品が4か月連続、身のまわり品と食料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が13か月連続、子供服・洋品が6か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.8	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.4	-0.3	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-8.2	-1.8	6か月連続マイナス
子供服・洋品	0.1	0.0	6か月ぶりプラス
その他衣料品	-2.0	0.0	6か月連続マイナス
衣料品	-6.3	-2.2	6か月連続マイナス
身のまわり品	-6.0	-0.8	2か月連続マイナス
化粧品	11.8	0.8	13か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-7.1	-0.4	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.8	-0.2	4か月連続マイナス*
雑貨	0.7	0.1	13か月連続プラス
家具	-12.5	-0.2	2か月連続マイナス
家電	-20.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-3.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
家庭用品	-6.8	-0.3	4か月連続マイナス
生鮮食品	-2.4	-0.1	25か月連続マイナス*
菓子	-1.0	-0.1	5か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.0	-0.1	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.2	0.0	2か月連続マイナス*
食料品	-1.1	-0.3	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-6.0	-0.2	6か月連続マイナス
サービス	-11.3	-0.2	10か月連続マイナス
その他	3.0	0.1	3か月連続プラス
商品券	-10.3	-0.3	62か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成28年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年5月20日

I. 概 況

1. 売上高総額	1, 259億円余
2. 前年同月比	-1.5% (2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-2.0%(89.5%) : 非店頭2.9%(10.5%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	882,870㎡ (前年同月比: 3.1%)
6. 総従業員数	19,105人 (前年同月比: -0.6%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 3.9%、10-12月 3.0%、11-1月 1.0%、 12-2月 1.7%、1-3月 0.5%、2-4月 -0.1%

[参考] 平成27年4月の売上高増減率は17.8%

【特 徴】

- (1) 4月は気温が高めに推移し、土曜日が一日増の好条件下、中旬に発生した熊本地震による心理不安の影響を一時的に受けながらも、入店客数は0.8%増と前年を確保したが、総額では1.5%減と2か月連続のマイナスに終わった。
- (2) 商品別では、雑貨が13か月連続、食料品も8か月連続プラスと増勢を保ったものの、全国同様に衣料品や身のまわり品、家庭用品のマイナスをカバーするまでには至らず。
- (3) 細分類では、化粧品が17.9%増の13か月連続プラス。GWの帰省土産に人気が集まった菓子も1.9%増の8か月連続プラスを記録したほか、各社が集客に力を入れた地方物産催事が好評で、菓子(+1.9%)、惣菜(+0.9%)、その他食料品(+4.7%)が好調。
- (4) 個別商材では、紳士のビジネスアイテム(スーツ、シャツ、ネクタイ)が好調。一方、婦人では女性活躍推進法施行にあわせ強化したキャリアファッションで、シャツ、ブラウスと組み合わせたパンツスタイルに動きが見られる。また、各社とも日本の魅力を再発信するため、日本の技術や素材を活かした'Made in Japan'商品を積極的に展開している。
- (5) 5月は経済環境を背景とする消費マインドの低下が継続していることや、購買スタイル(一般物品→消耗品)の変化によるインバウンド消費の落ち着きを要因に、16日現在約4%減で推移。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した: 5店、②変化なし: 8店、③減少した: 5店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上 (同上/有効回答数10店舗)
①増加した: 0店、②変化なし: 4店、③減少した: 6店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2016年04月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	125,913,458	100.0	-1.5
紳士服・洋品	11,003,100	8.7	-2.9
婦人服・洋品	23,978,705	19.0	-5.9
子供服・洋品	2,894,660	2.3	3.9
その他衣料品	2,267,037	1.8	4.7
衣 料 品	40,143,502	31.9	-3.9
身のまわり品	18,925,027	15.0	-5.4
化粧品	10,963,060	8.7	17.9
美術・宝飾・貴金属	8,409,459	6.7	-5.0
その他雑貨	5,448,070	4.3	-6.5
雑 貨	24,820,589	19.7	3.5
家 具	1,553,147	1.2	-7.7
家 電	638,780	0.5	-16.7
その他家庭用品	5,189,695	4.1	3.2
家 庭 用 品	7,381,622	5.9	-1.3
生 鮮 食 品	4,267,988	3.4	-2.1
菓 子	7,026,336	5.6	1.9
惣 菜	6,186,728	4.9	0.9
その他食料品	8,352,875	6.6	4.7
食 料 品	25,833,927	20.5	1.9
食 堂 喫 茶	3,005,268	2.4	-1.5
サ ー ビ ス	2,557,527	2.0	-19.5
そ の 他	3,245,996	2.6	5.3

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,301,438 千円	-8.3
従 業 員 数	19,105 人	-0.6
店 舗 面 積	882,870 m ²	3.1

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が13か月連続、食料品が8か月連続のプラスとなった。また、衣料品が6か月連続、身のまわり品が3か月連続、家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が13か月連続、菓子、その他食料品が8か月連続、その他家庭用品が5か月連続、惣菜が3か月連続、子供服・洋品、その他衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.5	-	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.9	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.9	-1.2	6か月連続マイナス
子供服・洋品	3.9	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	4.7	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	-3.9	-1.3	6か月連続マイナス
身のまわり品	-5.4	-0.8	3か月連続マイナス
化粧品	17.9	1.3	13か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-5.0	-0.3	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-6.5	-0.3	9か月連続マイナス*
雑貨	3.5	0.7	13か月連続プラス
家具	-7.7	-0.1	5か月ぶりマイナス
家電	-16.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	3.2	0.1	5か月連続プラス
家庭用品	-1.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	-2.1	-0.1	2か月連続マイナス*
菓子	1.9	0.1	8か月連続プラス*
惣菜	0.9	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	4.7	0.3	8か月連続プラス*
食料品	1.9	0.4	8か月連続プラス
食堂喫茶	-1.5	0.0	4か月連続マイナス
サービス	-19.5	-0.5	10か月連続マイナス
その他	5.3	0.1	9か月連続プラス
商品券	-8.3	-0.2	14か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>